

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

- 秋期調査：平成 20 年 11 月 1 日 ～11 月 30 日
- 春期調査：平成 21 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 14 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリOTTアソシアホテル、東京第一ホテル錦、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ホテルサンルートプラザ名古屋

・ホテル 3 施設

名古屋ガーデンパレス、ナゴヤローレンホテル、笠寺ワシントンホテルプラザ

・登録旅館 1 施設

つちやホテル

・旅館 2 施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉

⑤調査件数

- 秋 期：469 サンプル
- 春 期：400 サンプル
- 合 計：869 サンプル

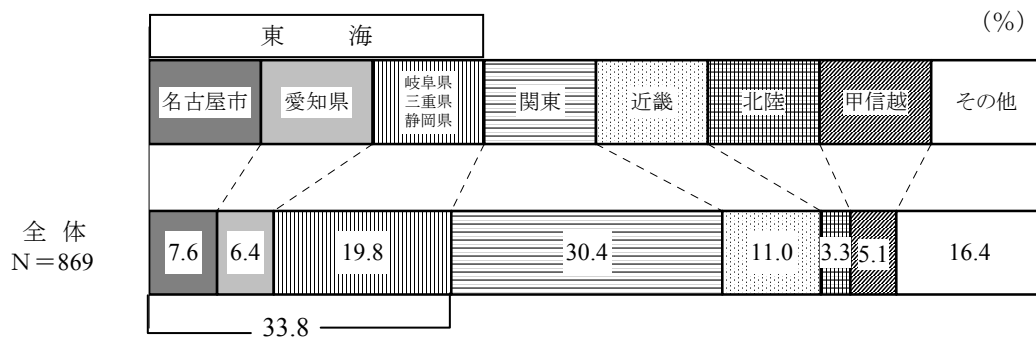
(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 7.6%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 6.4%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 19.8%であり、合わせて「東海」地域が 33.8%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 30.4%と多く、「近畿」地域は 11.0%、「甲信越」地域は 5.1%、「北陸」地域は 3.3%である。



注：愛知県は名古屋市を除く

図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「20～29 歳」(26.7%)と「30～39 歳」(23.2%)が多く、以下「50～59 歳」(17.3%)、「40～49 歳」(16.0%)、「60～69 歳」(7.7%)、「10～19 歳」(5.0%)、「70 歳以上」(4.1%)となっている。

性別は、男性が 51.8%、女性が 48.2%と、男女ほぼ半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では 20 歳代から 50 歳代がそれぞれ 2 割前後と分散している。一方、女性では「20～29 歳」(33.5%)が中心となっている。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上	合計
全 体	5.0	26.7	23.2	16.0	17.3	7.7	4.1	100.0
男 性	5.4	19.9	22.7	16.9	21.5	7.7	5.9	51.8
女 性	4.8	33.5	24.1	15.0	12.8	7.3	2.5	48.2

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(16.3%)をはじめ「ショッピング」(8.3%)、「観劇・コンサート」(8.1%)、「飲食」(7.0%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて47.1%と半数近くを占め、「商用・公用」が22.2%、「帰省・冠婚葬祭」が10.7%、「大会・会議に参加」が8.3%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は5割前後、「商用・公用」は2割前後、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が34.5%と多く、「観光・娯楽」の割合計(34.6%)とほぼ同じである。女性では「観光施設の見学」(19.0%)、「ショッピング」(12.7%)、「観劇・コンサート」(12.7%)など観光・娯楽の割合が男性に比べ高い。

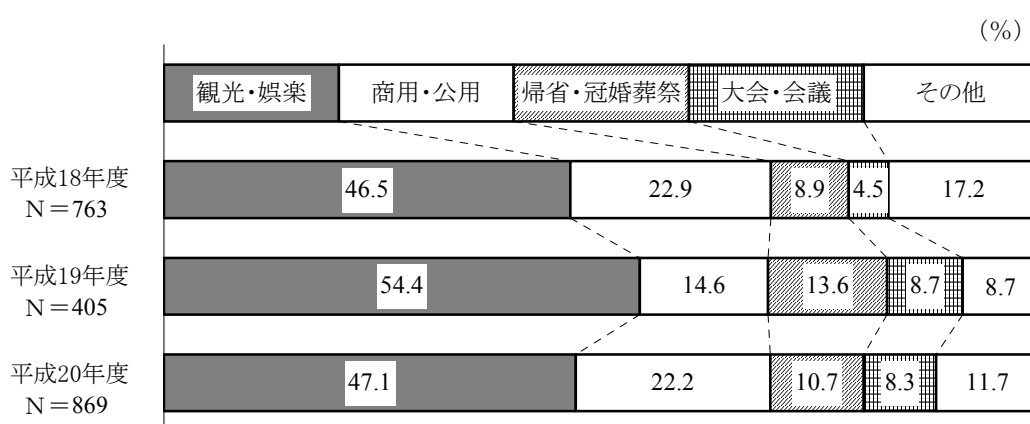


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	12.6	4.7	4.0	3.0	7.3	3.0	34.5	9.8	11.5	9.6	100.0
女性	19.0	12.7	12.7	3.0	7.0	5.5	9.3	11.8	5.3	13.7	100.0
全体	16.3	8.3	8.1	2.9	7.0	4.5	22.2	10.7	8.3	11.7	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（410人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「ホームページの情報」（23.0%）と「以前に来て良かったから」（20.5%）が多く、以下「雑誌・新聞をみて」（15.4%）、「友人・知人の推薦」（13.9%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（8.6%）となっている。

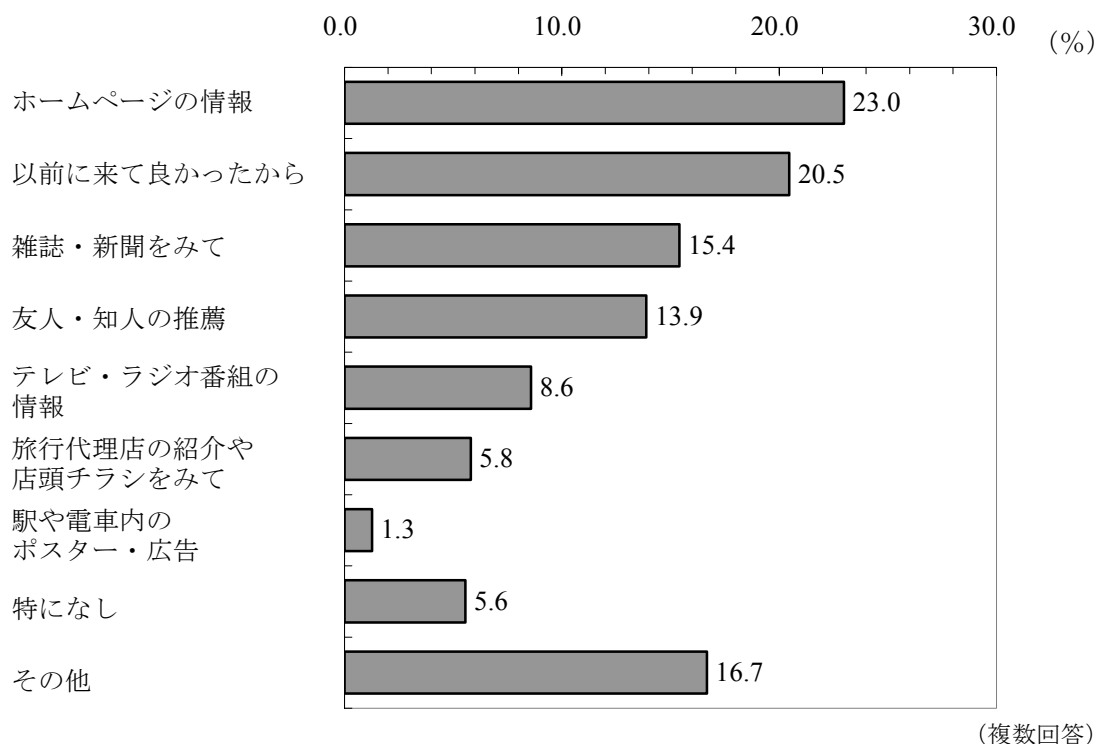


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、869 人中 595 人（68.5%）であり、全体では「名古屋城」が 27.5%と最も多く、次いで「熱田神宮」（11.5%）、「テレビ塔」（10.0%）、「名古屋港水族館」（9.6%）、「徳川美術館」（7.8%）、「ノリタケの森」（6.6%）、「徳川園」（6.6%）、「名古屋港」（5.5%）、「東山動植物園」（5.4%）となっている。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合は「東海」「東海以外」ともほぼ同じである。訪問施設としては、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」（32.1%）を訪れる割合が高く、「熱田神宮」（12.1%）、「徳川美術館」（9.4%）などを訪れる割合も相対的に高く、「東海」からの宿泊客に比べ多くの施設を訪問している。一方、「東海」からの宿泊客では「名古屋港水族館」（11.8%）、「テレビ塔」（11.5%）を訪れる割合が相対的に高い。

なお、宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 1.28 施設である。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館
東 海	19.3	2.3	5.6	4.9	4.6	10.5	0.7	4.9	2.6	11.5	2.0	1.3
東海以外	32.1	5.3	7.1	9.4	7.7	12.1	1.1	5.5	0.9	9.1	1.2	2.1
全 体	27.5	4.3	6.6	7.8	6.6	11.5	0.9	5.4	1.5	10.0	1.5	1.8

訪問施設 地 域	名古屋ポストン美術館	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	1.6	1.0	1.6	0.7	2.6	11.8	7.2	2.6	0.7	20.3	31.5	1.20
東海以外	1.1	1.1	0.9	0.2	0.9	8.4	4.5	0.4	0.0	20.7	31.6	1.32
全 体	1.3	1.0	1.2	0.3	1.5	9.6	5.5	1.2	0.2	20.5	31.5	1.28

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数}
/（全回答者数）

d. 旅行形態

全体では「ひとり」(34.5%)と「友人・知人」(32.5%)が多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(12.1%)など合わせて26.2%である。

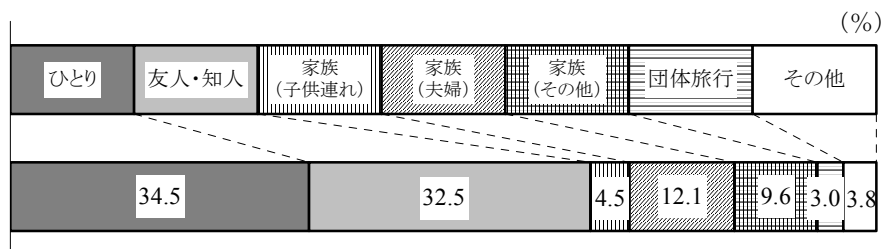


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では12.8%となっている。

居住地別にみると「その他」の地域からの宿泊客では25.0%が、「関東」、「甲信越」からの宿泊客でも1割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行形態	パッケージ 旅行	パッケージ 旅行ではない	合 計
東 海		7.4	92.6	100.0
	名古屋市	9.1	90.9	100.0
	愛知県(名古屋市を除く)	5.2	94.8	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	7.5	92.5	100.0
関 東		14.7	85.3	100.0
近 畿		8.6	91.4	100.0
北 陸		4.2	95.8	100.0
甲信越		13.2	86.8	100.0
その他		25.0	75.0	100.0
全 体		12.8	87.2	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 46.2%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(23.7%)、「5,000～10,000 円未満」(14.5%)、「50,000 円以上」(14.3%)となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では「50,000 円以上」の割合が最も多い。そのほかの地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多いものの、「関東」、「甲信越」地域では 30,000 円以上も半数前後みられ、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 30,551 円であり、昨年度 (32,493 円) と比較して 1,942 円の減額となっている。

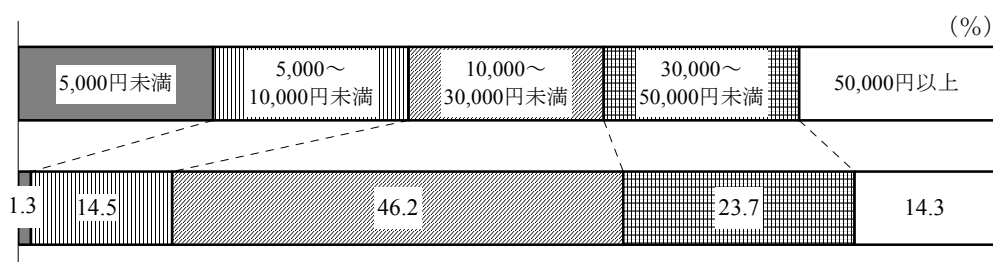


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算 (居住地別)

(単位: %)

旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
地域							
東 海	2.1	27.8	53.7	12.1	4.3	100.0	20,925
名古屋市	3.1	32.8	48.5	7.8	7.8	100.0	21,211
愛知県 (名古屋市を除く)	5.2	24.1	58.7	10.3	1.7	100.0	19,095
岐阜県・三重県・静岡県	0.6	27.0	54.1	14.5	3.8	100.0	21,478
関 東	0.9	7.1	40.5	36.4	15.1	100.0	34,556
近 畿	2.5	7.4	61.7	21.0	7.4	100.0	26,914
北 陸	0.0	0.0	66.7	23.8	9.5	100.0	30,000
甲信越	0.0	9.1	45.4	18.2	27.3	100.0	37,500
その他	0.0	6.0	22.4	31.9	39.7	100.0	47,435
全 体	1.3	14.5	46.2	23.7	14.3	100.0	30,551

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」(31.4%)、「20,000～30,000 円未満」(27.2%)が多く、以下「30,000～50,000 円未満」(18.1%)、「5,000～10,000 円未満」(11.2%)、「50,000 円以上」(9.2%)となっており、平均額は 22,624 円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」、「近畿」からの宿泊客では約 20,000 円であり、「関東」、「その他」、「北陸」からの宿泊客では 23,000～25000 円で、「甲信越」からの宿泊客では 37,750 円と消費額は高額となっている。

なお、平均額は、昨年度 (22,154 円) と比較して 470 円の増額となっている。

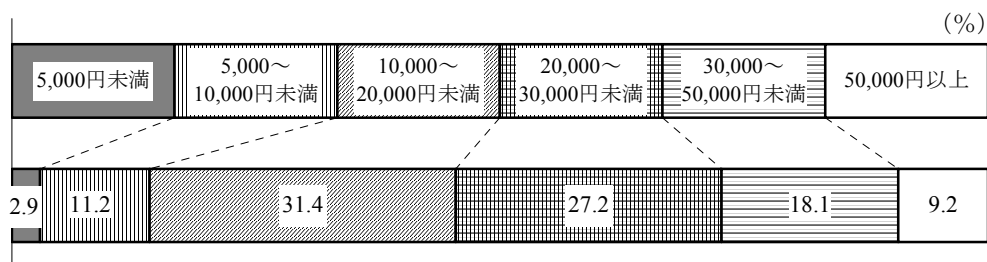


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算 (居住地別)

(単位: %)

地 域	旅行予算						合 計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 20,000円 未満	20,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上		
東 海	1.9	11.4	34.2	27.0	19.0	6.5	100.0	20,721
名古屋市	1.6	16.4	36.1	29.5	8.2	8.2	100.0	19,320
愛知県 (名古屋市を除く)	3.8	5.7	30.1	26.4	28.3	5.7	100.0	22,302
岐阜県・三重県・静岡県	1.3	11.4	34.9	26.2	20.2	6.0	100.0	20,732
関 東	2.5	11.1	33.3	27.3	16.2	9.6	100.0	23,159
近 畿	2.8	12.7	31.0	26.8	21.1	5.6	100.0	19,944
北 陸	5.6	0.0	16.7	44.4	22.2	11.1	100.0	24,611
甲信越	0.0	13.3	16.7	20.0	26.7	23.3	100.0	37,750
その他	6.6	11.3	28.3	27.4	13.2	13.2	100.0	23,184
全 体	2.9	11.2	31.4	27.2	18.1	9.2	100.0	22,624

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 38.6%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(22.9%)、「3,000～5,000 円未満」(15.3%)、「5,000 円以上」(10.6%)、「交通費はかからない」(10.7%) となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」、「近畿」からの宿泊客では「1,000 円未満」、「甲信越」からの宿泊客では「5,000 円以上」の割合が最も多く、そのほかの地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多い。

なお、市内交通費の平均額は 2,337 円であり、昨年度 (2,264 円) と比較して 73 円の増額となっている。

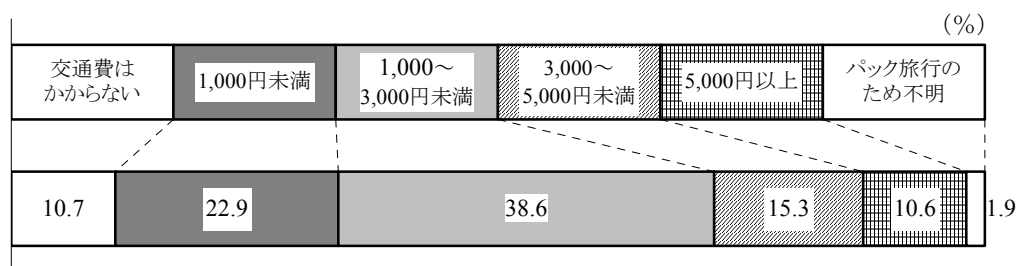


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合計	平均額 (円)
地 域									
東 海		11.5	28.6	40.5	10.8	6.8	1.8	100.0	1,929
	名古屋市	19.0	39.7	33.3	4.8	1.6	1.6	100.0	1,194
	愛知県 (名古屋市を除く)	16.9	27.1	39.0	13.6	1.7	1.7	100.0	1,612
	岐阜県・三重県・静岡県	6.4	24.8	44.0	12.1	10.8	1.9	100.0	2,344
関 東		9.4	19.7	40.8	17.5	11.7	0.9	100.0	2,511
近 畿		13.4	31.7	29.3	13.4	12.2	0.0	100.0	2,195
北 陸		8.7	13.0	56.6	8.7	13.0	0.0	100.0	2,522
甲信越		2.9	11.8	26.5	23.5	29.4	5.9	100.0	3,969
その他		12.5	15.8	34.2	20.8	11.7	5.0	100.0	2,601
全 体		10.7	22.9	38.6	15.3	10.6	1.9	100.0	2,337

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「交通費はかからない」の回答者数) + (500 円) × (「1,000 円未満」の回答者数) + (2,000 円) × (「1,000～3,000 円未満」の回答者数) + (4,000 円) × (「3,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数)}

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 71.0%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 32.2%と最も多く、以下「2,000 円未満」(20.3%)、「5,000～10,000 円未満」(11.2%)、「10,000 円以上」(7.3%) となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(59.3%)、「愛知県(名古屋市を除く)」(49.1%) 居住の宿泊客では多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は多い。

購入額としては、「甲信越」からの宿泊客では「10,000 円以上」が最も多く、平均額は 7,833 円と高い。

なお、土産代の平均額は 3,624 円である。昨年度と比較すると購入する割合(昨年度 74.7%)は 3.7 ポイント減少しているものの、平均額(同 3,561 円)は 63 円の増額となっている。

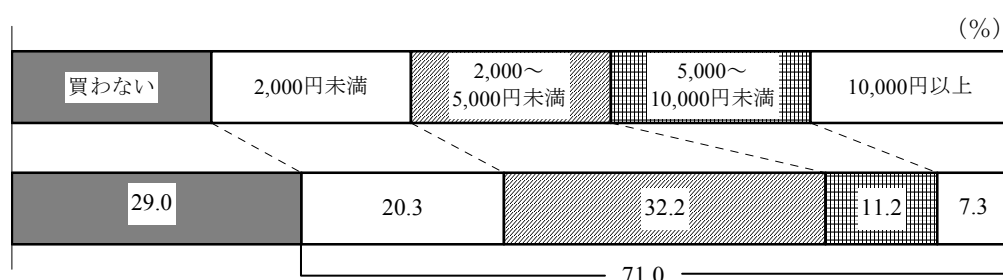


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代（居住地別）

(単位：%)

地 域	土産代	買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海		44.9	18.1	25.3	8.5	3.2	100.0	2,347
	名古屋市	59.3	20.3	14.1	4.7	1.6	100.0	1,359
	愛知県(名古屋市を除く)	49.1	13.6	22.0	10.2	5.1	100.0	2,686
	岐阜県・三重県・静岡県	37.3	19.0	31.0	9.5	3.2	100.0	2,620
関 東		21.8	21.3	37.8	12.4	6.7	100.0	3,802
近 畿		28.9	26.5	35.0	7.2	2.4	100.0	2,512
北 陸		8.7	17.4	52.2	13.0	8.7	100.0	4,717
甲信越		10.3	23.0	23.1	15.4	28.2	100.0	7,833
その他		16.7	19.1	35.0	15.0	14.2	100.0	5,375
全 体		29.0	20.3	32.2	11.2	7.3	100.0	3,624

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「買わない」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」が 33.1%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」(26.3%)、「2,000 円未満」(17.8%)、「10,000～30,000 円未満」(16.8%)となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」居住の宿泊客では「2,000 円未満」(31.2%)が最も多い。「関東」、「近畿」、「北陸」からの宿泊客では「5,000～10,000 円未満」が3割以上となっている。

なお、食事代の平均額は 7,384 円であり、昨年度 (7,844 円) と比較して 460 円の減額となっている。

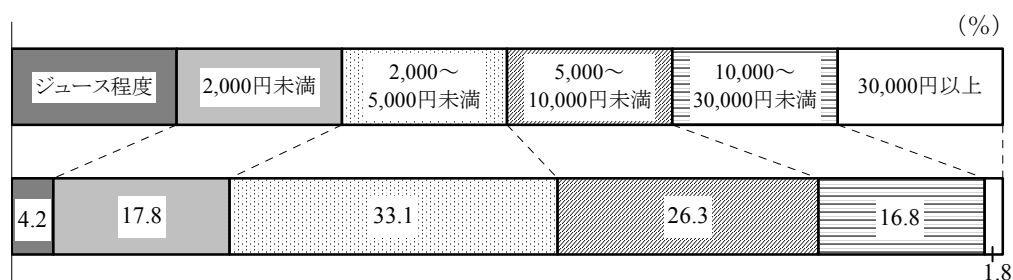


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：%)

地 域	市内食事代	ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額 (円)
東 海		5.0	22.1	33.4	23.5	15.3	0.7	100.0	6,498
	名古屋市	7.8	31.2	20.3	26.6	14.1	0.0	100.0	5,828
	愛知県 (名古屋市を除く)	1.8	21.0	33.3	21.1	21.0	1.8	100.0	7,868
	岐阜県・三重県・静岡県	5.0	18.8	38.7	23.1	13.8	0.6	100.0	6,278
関 東		3.1	12.6	32.7	31.4	17.5	2.7	100.0	8,200
近 畿		4.9	17.1	26.8	30.5	19.5	1.2	100.0	7,787
北 陸		4.5	13.6	31.9	31.9	13.6	4.5	100.0	8,182
甲信越		5.7	25.7	34.3	8.6	20.0	5.7	100.0	8,386
その他		4.1	14.0	39.7	23.1	17.4	1.7	100.0	7,397
全 体		4.2	17.8	33.1	26.3	16.8	1.8	100.0	7,384

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 70.6%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」(18.2%)となっている。

どの地域においても「5,000～15,000 円未満」が最も多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 12,805 円であり、昨年度 (13,576 円) と比較して 771 円の減額となっている。

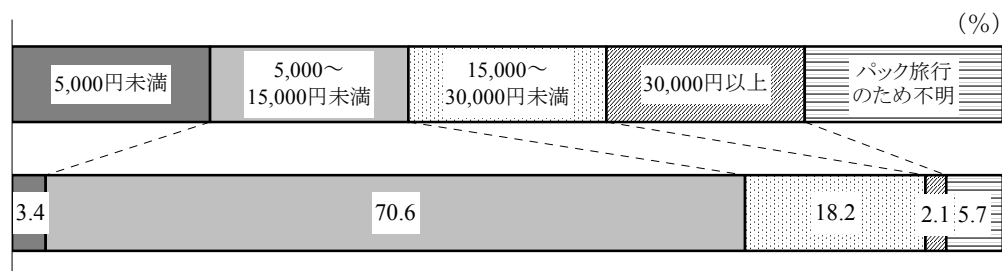


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代 (居住地別)

(単位: %)

地域	市内宿泊代	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	合計	平均額 (円)
東海		5.0	70.4	20.4	1.5	2.7	100.0	12,708
	名古屋市	5.3	63.1	24.6	3.5	3.5	100.0	13,864
	愛知県 (名古屋市を除く)	1.9	69.8	28.3	0.0	0.0	100.0	13,396
	岐阜県・三重県・静岡県	6.0	73.4	16.0	1.3	3.3	100.0	12,017
関東		1.3	73.6	17.5	2.7	4.9	100.0	13,042
近畿		4.8	69.0	17.8	2.4	6.0	100.0	12,753
北陸		4.3	78.3	13.1	0.0	4.3	100.0	11,364
甲信越		5.7	71.4	14.3	2.9	5.7	100.0	12,348
その他		2.6	63.5	17.4	1.7	14.8	100.0	12,934
全体		3.4	70.6	18.2	2.1	5.7	100.0	12,805

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市外の宿泊客 800 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 39.4%と最も多い。今回「はじめて」の割合は 17.6%であり、以下「4～9 回目」（16.6%）、「2 回目」（15.0%）、「3 回目」（11.4%）となっている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」（58.7%）が 6 割近くを占め、「はじめて」の割合は 1 割に満たないが、「東海以外」からの宿泊客では 22.9%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数					
		はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上
東 海		5.5	8.6	12.7	14.5	58.7
愛知県（名古屋市を除く）		3.5	5.3	10.5	7.0	73.7
岐阜県・三重県・静岡県		6.1	9.8	13.5	17.2	53.4
東海以外		22.9	17.4	10.7	17.6	31.4
全 体		17.6	15.0	11.4	16.6	39.4

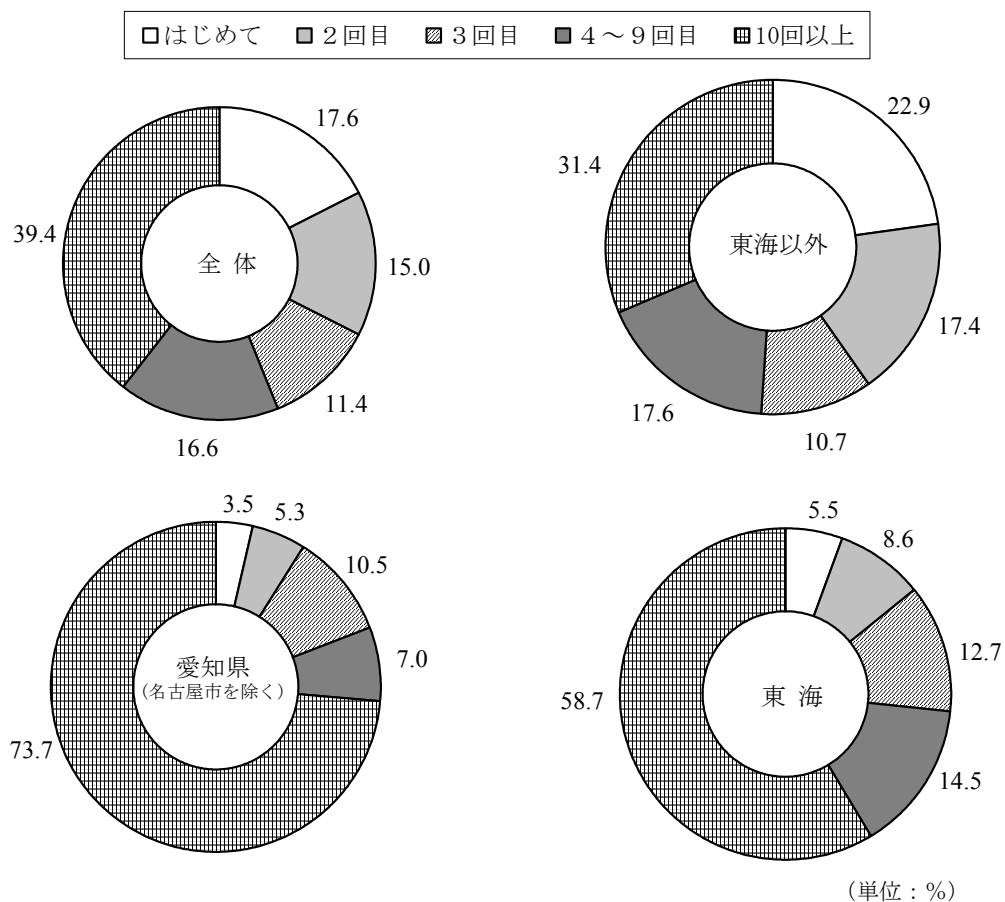


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が最も多く 57.6%を占めている。次いで「自家用車」(19.0%)、「航空機」(8.8%)、「名鉄電車」(6.8%)、「近鉄電車」(6.1%) となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(38.6%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(58.8%) が最も多い。また、「静岡県」からの宿泊客では「自家用車」(34.5%) が比較的多い。東海北陸自動車道の全線開通のためか「北陸」からの宿泊客では「自家用車」が過半数を占めている。また、「その他」の地域からの宿泊客では「航空機」(46.3%) が最も多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」では「自家用車」(56.3%) が最も多い。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

(単位：%)

交通機関		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
地域・旅行形態										
地 域	東 海	45.2	15.8	13.6	25.3	1.4	2.3	0.0	0.5	104.1
	愛知県（名古屋市を除く）	33.3	38.6	0.0	29.8	1.8	1.8	0.0	1.8	107.1
	岐阜県	58.7	20.7	0.0	15.5	1.7	3.4	0.0	0.0	100.0
	三重県	21.6	0.0	58.8	21.6	0.0	3.9	0.0	0.0	105.9
	静岡県	65.5	1.8	0.0	34.5	1.8	0.0	0.0	0.0	103.6
	関 東	85.2	0.4	0.4	8.7	0.9	0.9	3.1	2.6	102.2
	近 畿	55.8	0.0	12.8	25.6	0.0	2.3	2.3	4.7	103.5
	北 陸	43.5	0.0	0.0	52.2	0.0	0.0	0.0	4.3	100.0
	甲信越	34.1	2.4	0.0	39.0	7.3	2.4	22.0	2.4	109.6
	その他	41.3	9.9	1.7	8.3	46.3	2.5	3.3	5.0	118.3
旅 行 形 態	ひとり	68.2	8.3	7.0	9.5	9.5	1.7	0.0	1.7	105.9
	友人・知人	55.5	6.7	8.8	17.6	5.9	2.5	2.9	2.5	102.4
	家 族									
	幼児・小学生連れ	37.5	3.1	0.0	56.3	6.3	0.0	0.0	0.0	103.2
	夫婦	56.0	7.7	2.2	27.5	11.0	2.2	2.2	0.0	108.8
	その他	58.8	7.4	2.9	27.9	5.9	0.0	7.4	1.5	111.8
	団体旅行	16.0	0.0	4.0	32.0	16.0	4.0	24.0	12.0	108.0
全 体		57.6	6.8	6.1	19.0	8.8	1.8	3.0	2.7	105.8

(複数回答)

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は38.7%であった。その方たち（270人）の訪問地としては、「伊勢・志摩」（23.3%）、「知多・常滑・セントレア」（23.0%）、「明治村・犬山」（22.2%）が多く、以下「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（18.5%）、「下呂・高山」（18.1%）、「豊田・岡崎・足助」（17.0%）、「長久手・モリコロパーク」（15.2%）、「岐阜・関ヶ原」（14.8%）、「多治見・恵那・中津川」（11.9%）が1割台で続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪 問 地	伊勢・志摩	知多・常滑・セントレア	明治村・犬山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	岐阜・関ヶ原	多治見・恵那・中津川	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺瀬戸・小原	その他
	23.3	23.0	22.2	18.5	18.1	17.0	15.2	14.8	11.9	7.8	7.4	6.7	4.4	11.9

（複数回答）

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2日」である割合が75.3%と最も多く、次いで「3日」が18.3%となっている。

居住地別にみると、「北陸」、「東海」からの宿泊客では「2日」の割合は9割近くを占めている。一方、「3日以上」の割合は、「その他」（49.6%）からの宿泊客では半数と多く、「甲信越」（27.5%）、「関東」（24.7%）からの宿泊客でも2割台みられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日 程	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
地 域					
東 海	86.2	10.3	1.0	2.5	100.0
関 東	75.3	22.6	1.7	0.4	100.0
近 畿	80.0	9.4	8.2	2.4	100.0
北 陸	87.0	13.0	0.0	0.0	100.0
甲信越	72.5	22.5	2.5	2.5	100.0
その他	50.4	30.6	8.3	10.7	100.0
全 体	75.3	18.3	3.3	3.1	100.0

⑧市内での宿泊日数

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が76.7%と多く、「2泊」が19.1%となっている。

居住地別にみると、「北陸」からの宿泊客では名古屋市内で「1泊」の割合が9割を超える。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では39.6%、「関東」、「近畿」、「甲信越」では22~23%となっている。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		83.7	12.8	2.0	1.5	100.0
関 東		76.8	19.7	3.5	0.0	100.0
近 畿		78.3	14.5	4.8	2.4	100.0
北 陸		91.3	8.7	0.0	0.0	100.0
甲信越		76.9	23.1	0.0	0.0	100.0
その他		60.4	32.2	4.1	3.3	100.0
全 体		76.7	19.1	2.9	1.3	100.0

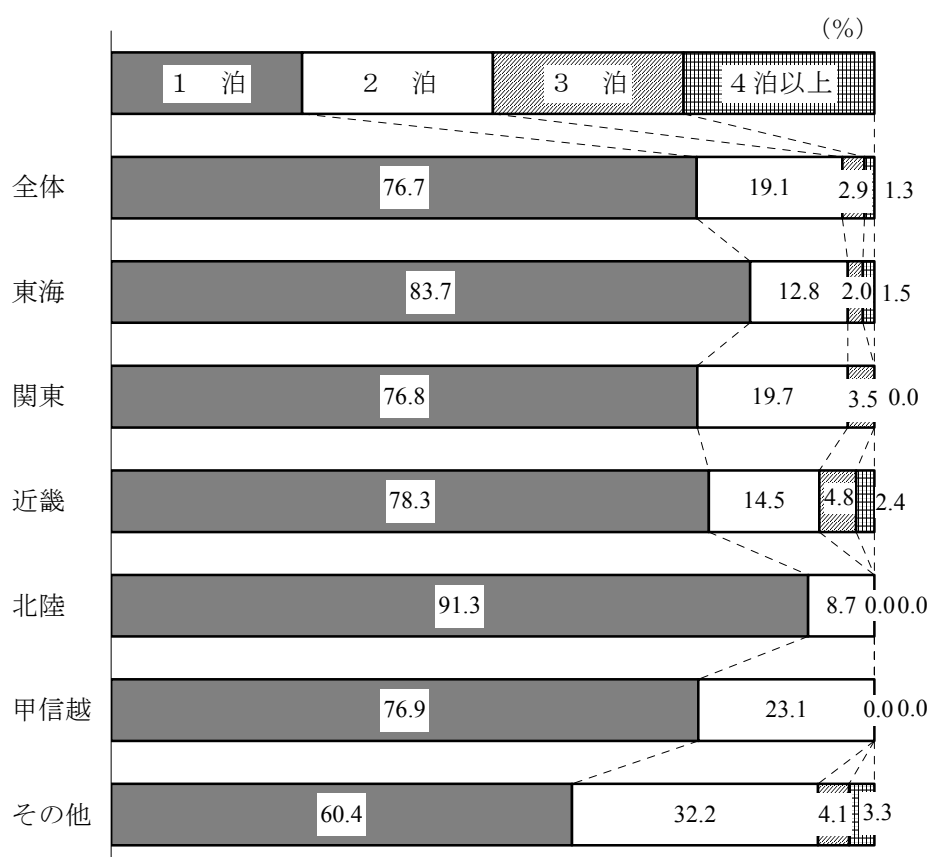


図 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数